

平成 18 年 10 月 23 日

大川石材ニュース

平成 18 年度第 44 回技能五輪全国大会

石工部門 銀賞受賞

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13
電話(087)845-9640 E-mail info@ookawasekizai.com
FAX (087)845-7510 <http://www.ookawasekizai.com>



大川石材は、庵治石の産地にあり、四国八十八「八栗寺」のある香川県高松市牟礼町に位置します。「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地や、イサム・ノグチ庭園美術館が近くにありま。昭和 20 年より、この地で、庵治石を中心とした石材加工業を営んできました。

硬く高価な「花崗岩のダイヤモンド」を最大限生かし、お客様が納得する品物を作り続けることが大川石材の使命であり、特に、「庵治石の最終加工の研磨」には、特にこだわりをもって取り組んできました。大川石材は、研磨に標準的に砥石仕上げを採用し、「大川仕上げ」としてお客様に製品を送り出しています。

大川石材では、未来にわたりより良い製品を納められるように、若い石材加工技能者を育てています。若い人にはすごい力と想像力があります。しかし、この業界で力強く生き残るには、基本となる加工技術を習得する必要があります。特に、若い時期の成長は不可欠であると考えています。

大川石材では、今年度は「若い力の成長」をかけて、技能五輪に社員 2 名を送り込みました。香川県の代表が大川石材 2 名であり、「庵治石」のブランドをかけての挑戦でした。社長の大川は、「個人の技術の向上が、会社の技術力であり、庵治石業界への貢献となる」と考えています。「石と一つになる」ように言い聞かせ、参加者 2 人は連日連夜・土日関係なく大川の指導のもと、「石」とひとつになるように取り組みました。

課題は制限時間内で課題作品を仕上げることです。10月21日22日の両日、大川石材社員 2 名徳山義晃・多田淳は全力で取り組みました。徳山は 2 度目の技能五輪参加者であり、大会の状況から「上位にいった」と大川は感じました。多田は経験が浅いものの、熱心に真剣にとりくみ制限時間内で完成させました。

結果は、「徳山義晃 銀賞」という快挙を納めました。

技能五輪の結果は、会社の技術力の証であり、未来への成長のバネであります。この結果を誇りに思いながら、決して甘んじることなく、技術を活かしながら精進してまいります。

株式会社 大川石材



課題作品

幅295mm 奥行き250mm 高さ195mm

完成重量 約41kg(原石重量約56kg)

制限時間 10時間

手作業と許可された工具で完成させます。

基本作業の連続ですが、高度な技術が要求される。



銀賞 徳山義晃



多田 淳

大川石材の場所について

